

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2002年3月26日から、原則として無期限です。	
運用方針	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 原則として、外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等には、マザーファンドの利子・配当収入等のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当収入等を含むものとします。 （ファンドの分配対象収益の範囲には、売買益（評価益を含みます。）を含みません。） 分配対象額の範囲内で、1万円当たり1円単位で安定的な分配を行うことを基本とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案し、決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

ワールド・ソブリンインカム （愛称 十二単衣）

第247期（決算日 2022年10月25日） 第250期（決算日 2023年1月25日）
第248期（決算日 2022年11月25日） 第251期（決算日 2023年2月27日）
第249期（決算日 2022年12月26日） 第252期（決算日 2023年3月27日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）」は、2023年3月27日に第252期決算を迎えたので、過去6ヵ月間（第247期～第252期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	券 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	達 金 騰 落	中 率	期 騰 落 中 率			
	円		円	%	ポイント	%	%	百万円
223期(2020年10月26日)	7,820		20	△0.6	446.32	△0.0	95.5	84,580
224期(2020年11月25日)	7,842		20	0.5	448.76	0.5	96.1	84,526
225期(2020年12月25日)	7,832		20	0.1	450.03	0.3	89.5	83,913
226期(2021年1月25日)	7,793		20	△0.2	448.00	△0.5	86.4	82,888
227期(2021年2月25日)	7,780		20	0.1	447.49	△0.1	94.3	81,993
228期(2021年3月25日)	7,792		20	0.4	452.56	1.1	89.5	81,438
229期(2021年4月26日)	7,770		20	△0.0	452.88	0.1	93.4	80,443
230期(2021年5月25日)	7,810		20	0.8	455.93	0.7	92.4	80,182
231期(2021年6月25日)	7,896		20	1.4	461.46	1.2	89.8	80,064
232期(2021年7月26日)	7,897		20	0.3	463.95	0.5	94.0	78,390
233期(2021年8月25日)	7,845		20	△0.4	461.89	△0.4	94.9	76,632
234期(2021年9月27日)	7,755		20	△0.9	459.14	△0.6	88.0	74,698
235期(2021年10月25日)	7,834		20	1.3	464.62	1.2	91.1	74,259
236期(2021年11月25日)	7,778		20	△0.5	464.61	△0.0	96.6	72,879
237期(2021年12月27日)	7,739		20	△0.2	464.52	△0.0	90.8	71,605
238期(2022年1月25日)	7,591		10	△1.8	458.03	△1.4	94.7	69,558
239期(2022年2月25日)	7,479		10	△1.3	450.47	△1.7	94.0	66,631
240期(2022年3月25日)	7,648		10	2.4	461.28	2.4	90.4	66,466
241期(2022年4月25日)	7,682		10	0.6	463.75	0.5	90.5	65,540
242期(2022年5月25日)	7,538		10	△1.7	456.60	△1.5	91.5	63,302
243期(2022年6月27日)	7,620		10	1.2	467.28	2.3	88.5	62,525
244期(2022年7月25日)	7,801		10	2.5	473.62	1.4	90.9	61,972
245期(2022年8月25日)	7,573		10	△2.8	463.71	△2.1	88.8	59,309
246期(2022年9月26日)	7,429		10	△1.8	460.49	△0.7	90.4	57,199
247期(2022年10月25日)	7,454		10	0.5	466.62	1.3	83.5	56,584
248期(2022年11月25日)	7,489		10	0.6	463.99	△0.6	87.5	56,113
249期(2022年12月26日)	7,052		10	△5.7	443.63	△4.4	85.6	52,222
250期(2023年1月25日)	7,224		10	2.6	448.09	1.0	90.4	52,962
251期(2023年2月27日)	7,170		10	△0.6	450.23	0.5	95.6	51,874
252期(2023年3月27日)	7,206		10	0.6	450.91	0.2	87.3	51,534

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		債組入比率	債券先物比率
		騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
第247期	(期首) 2022年9月26日	円 7,429	% —	ポイント 460.49	% —	% 90.4	% —
	9月末	7,443	0.2	461.25	0.2	85.8	—
	(期末) 2022年10月25日	7,464	0.5	466.62	1.3	83.5	—
第248期	(期首) 2022年10月25日	7,454	—	466.62	—	83.5	—
	10月末	7,577	1.7	472.46	1.3	83.9	—
	(期末) 2022年11月25日	7,499	0.6	463.99	△0.6	87.5	—
第249期	(期首) 2022年11月25日	7,489	—	463.99	—	87.5	—
	11月末	7,413	△1.0	460.81	△0.7	87.4	—
	(期末) 2022年12月26日	7,062	△5.7	443.63	△4.4	85.6	—
第250期	(期首) 2022年12月26日	7,052	—	443.63	—	85.6	—
	12月末	7,050	△0.0	442.93	△0.2	83.2	—
	(期末) 2023年1月25日	7,234	2.6	448.09	1.0	90.4	—
第251期	(期首) 2023年1月25日	7,224	—	448.09	—	90.4	—
	1月末	7,161	△0.9	445.85	△0.5	88.3	—
	(期末) 2023年2月27日	7,180	△0.6	450.23	0.5	95.6	—
第252期	(期首) 2023年2月27日	7,170	—	450.23	—	95.6	—
	2月末	7,187	0.2	450.32	0.0	95.6	—
	(期末) 2023年3月27日	7,216	0.6	450.91	0.2	87.3	—

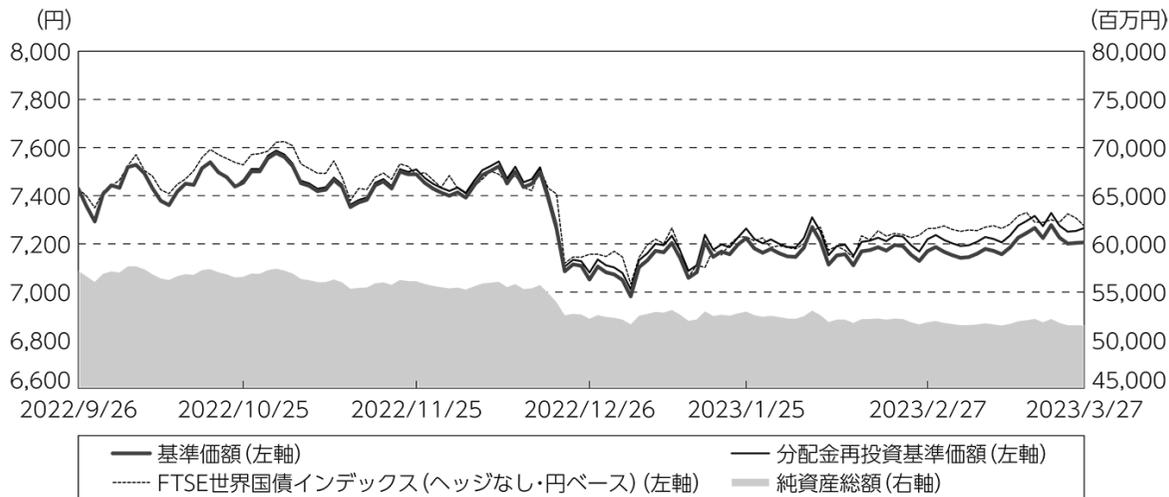
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2022年9月27日～2023年3月27日）



第247期首：7,429円

第252期末：7,206円（既払分配金（税引前）：60円）

騰落率：△ 2.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首（2022年9月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・米国、オーストラリア、イギリスなどの長期債利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・米ドル、オーストラリアドル、カナダドルが対円で下落したこと。

投資環境

（2022年9月27日～2023年3月27日）

＜投資国の債券市場＞

海外の債券市場では、米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）などの主要中央銀行が大幅な利上げを継続する姿勢を示したことを受けて、2022年10月下旬にかけて、投資国の国債利回りが上昇（価格は下落）しました。しかしその後は、米国のインフレ率がピークアウトしたことに加え、FRBによる利上げペースの減速や早期利上げ打ち止めが意識されたことなどから、米国債主導で投資国の国債利回りが低下（価格は上昇）しました。2023年2月以降は、米国の好調な経済指標やECB高官の利上げに積極的な発言などを背景に再度利回り上昇が進行する場面も見られましたが、米国の大手地方銀行の破綻を契機に欧米の金融システムへの懸念が高まり、作成期末にかけて投資国の国債利回りが急低下する展開となりました。一方、日本では、2022年12月に日銀が長短金利操作（YCC、イールドカーブ・コントロール）における長期金利の許容変動幅を拡大したことを受けて、10年国債利回りが上昇しました。この結果、当作成期における投資国の10年国債利回りは、多くの投資国で低下しましたが、ドイツ、日本、フランスでは小幅に上昇するなどまちまちな動きとなりました。

＜為替市場＞

為替市場では、日銀と海外の主要中央銀行との金融政策スタンスの違いが鮮明となる中、内外金利差の拡大とともに、米ドルが対円で一時32年ぶりの高値となる152円近辺に急伸するなど、2022年10月下旬にかけて急速な円安が進行しました。しかしその後は、政府・日銀が大規模な「円買い・米ドル売り」介入を実施したこと、海外金利が低下に転じたこと、日銀がYCCの修正に踏み切ったことなどを受けて、円が対米ドルを中心に急反発する展開となりました。2023年2月以降は、海外金利の上昇を受けて、投資通貨に対し円が下落する場面も見られましたが、欧米の金融システムへの懸念を背景に海外金利が急低下すると、再び投資通貨に対し円高が進行することとなりました。この結果、当作成期においては、カナダドルが対円で10%台、米ドルが対円で9%台の下落となる一方、イギリスポンドが対円で3%台の上昇となるなど、通貨間のパフォーマンス格差が顕著となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2022年9月27日～2023年3月27日）

＜ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）＞

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

8カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション※を変化させました。デュレーションは、6.88年～8.37年の範囲内での推移となり、作成期末は7.80年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当作成期においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は80.5%～95.2%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当作成期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、オーストラリアドル、カナダドルが高め、円が低めとなりました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

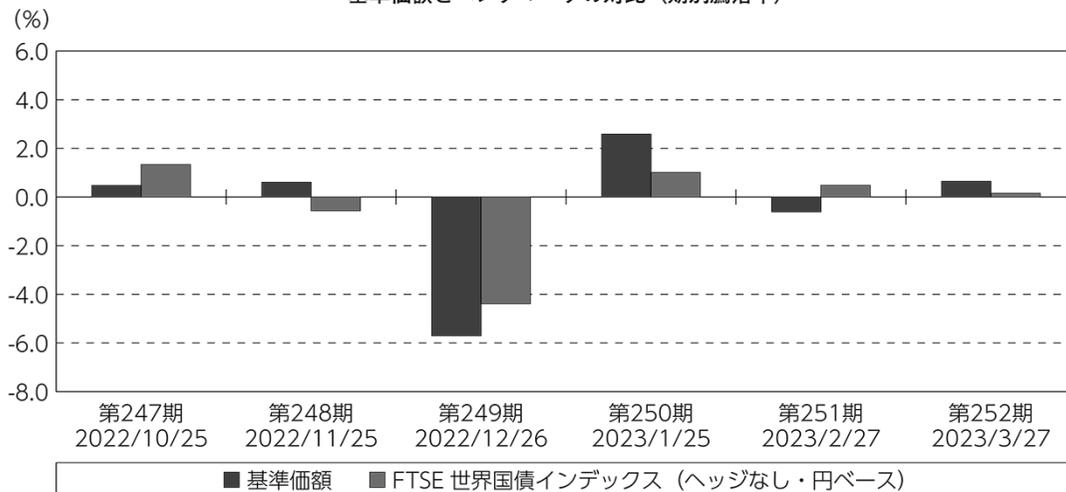
※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きいくらい、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年9月27日～2023年3月27日）

分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を0.1%下回りました。債券要因は、多くの投資国の長期債利回りが低下する中、米国を中心に長期債の投資比率を高め維持したことなどがプラスとなりました。為替要因は、当作成期間中に対円で下落したオーストラリアドルとカナダドルの投資比率を、ベンチマークと比較し高めに維持したことが小幅なマイナスとなりました。その他、信託報酬等のコストがファンドのパフォーマンスの押し下げ要因となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

分配金

（2022年9月27日～2023年3月27日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益等の全額としております。
 当作成期間におきましては、毎期1万口当たり10円（税引前）、合計60円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第247期	第248期	第249期	第250期	第251期	第252期
	2022年9月27日～ 2022年10月25日	2022年10月26日～ 2022年11月25日	2022年11月26日～ 2022年12月26日	2022年12月27日～ 2023年1月25日	2023年1月26日～ 2023年2月27日	2023年2月28日～ 2023年3月27日
当期分配金 （対基準価額比率）	10 0.134%	10 0.133%	10 0.142%	10 0.138%	10 0.139%	10 0.139%
当期の収益	10	10	5	10	8	10
当期の収益以外	—	—	4	—	1	—
翌期繰越分配対象額	96	97	93	95	94	96

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の債券市場では、欧米の金融システムへの懸念が残る中、当面は各国の経済指標やクレジット市場の動向を睨んで、上下に振れやすい展開が続くと見えています。しかし、今後は米国を中心に銀行の融資基準の厳格化を通じて、経済活動、雇用、インフレに下押し圧力がかかると判断しており、徐々に利回り低下を試す動きが優勢になると考えています。一方、各中央銀行の金融政策スタンスには温度差があるため、投資国間のパフォーマンス格差が拡大する可能性が高いと判断しています。

為替市場では、米ドルを筆頭に海外金利の先高観測が後退したことに加え、日銀の植田新総裁の誕生を受けて、今後日銀がYCCの修正や撤廃に踏み切る公算が高いことから、短期的に円高圧力が強まる場面も想定されます。一方、内外金利差が比較的高水準を維持すると予想される中で、国内投資家からの円売りニーズも強く、円高余地は限定的と判断しています。

（運用方針）

<ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）>

主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

（2022年9月27日～2023年3月27日）

項 目	第247期～第252期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(20)	(0.274)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(20)	(0.274)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.008	(b)その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	43	0.584	
作成期間中の平均基準価額は、7,305円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

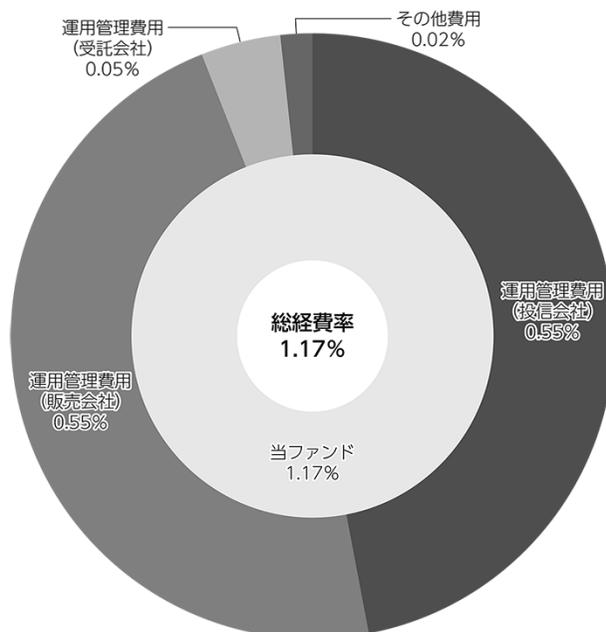
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年9月27日～2023年3月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第247期～第252期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド		—	—	2,279,227	4,695,110

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年9月27日～2023年3月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年3月27日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第246期末	第252期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド		27,304,995	25,025,768	51,305,327

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年3月27日現在)

項 目	第252期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	51,305,327	99.2
コール・ローン等、その他	405,539	0.8
投資信託財産総額	51,710,866	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ワールド・ソブリンインカム マザーファンドにおいて、作成期間末における外貨建純資産（46,185,246千円）の投資信託財産総額（54,606,214千円）に対する比率は84.6%です。

(注) 外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=130.65円、1カナダドル=95.16円、1ユーロ=140.67円、1イギリスポンド=159.88円、1オーストラリアドル=86.79円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第247期末	第248期末	第249期末	第250期末	第251期末	第252期末
	2022年10月25日現在	2022年11月25日現在	2022年12月26日現在	2023年1月25日現在	2023年2月27日現在	2023年3月27日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	56,791,833,232	56,308,205,635	52,404,482,794	53,156,274,907	52,103,770,255	51,710,866,826
コール・ローン等	443,400,533	446,859,865	417,714,125	428,050,806	425,772,651	405,538,919
ワールド・ソブリンインカムマザーファンド(附価額)	56,348,432,699	55,861,345,770	51,986,768,669	52,728,224,101	51,677,997,604	51,305,327,907
(B) 負債	207,279,690	194,604,687	181,599,839	193,438,889	229,713,432	176,098,066
未払収益分配金	75,914,686	74,923,906	74,049,614	73,314,829	72,347,563	71,514,473
未払解約金	78,883,852	64,139,784	53,203,536	70,045,005	102,562,367	58,510,883
未払信託報酬	52,230,412	55,276,274	54,087,371	49,840,553	54,542,570	45,852,872
未払利息	486	605	549	222	362	476
その他未払費用	250,254	264,118	258,769	238,280	260,570	219,362
(C) 純資産総額(A－B)	56,584,553,542	56,113,600,948	52,222,882,955	52,962,836,018	51,874,056,823	51,534,768,760
元本	75,914,686,029	74,923,906,377	74,049,614,094	73,314,829,277	72,347,563,915	71,514,473,256
次期繰越損益金	△19,330,132,487	△18,810,305,429	△21,826,731,139	△20,351,993,259	△20,473,507,092	△19,979,704,496
(D) 受益権総口数	75,914,686,029口	74,923,906,377口	74,049,614,094口	73,314,829,277口	72,347,563,915口	71,514,473,256口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,454円	7,489円	7,052円	7,224円	7,170円	7,206円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第247期19,330,132,487円、第248期18,810,305,429円、第249期21,826,731,139円、第250期20,351,993,259円、第251期20,473,507,092円、第252期19,979,704,496円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第247期0.7454円、第248期0.7489円、第249期0.7052円、第250期0.7224円、第251期0.7170円、第252期0.7206円です。

(注) 当ファンドの第247期首元本額は76,991,184,555円、第247～252期中追加設定元本額は225,963,968円、第247～252期中一部解約元本額は5,702,675,267円です。

○損益の状況

項 目	第247期	第248期	第249期	第250期	第251期	第252期
	2022年9月27日～ 2022年10月25日	2022年10月26日～ 2022年11月25日	2022年11月26日～ 2022年12月26日	2022年12月27日～ 2023年1月25日	2023年1月26日～ 2023年2月27日	2023年2月28日～ 2023年3月27日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 11,081	△ 11,653	△ 12,284	△ 8,138	△ 7,585	△ 5,522
受取利息	—	—	—	—	51	554
支払利息	△ 11,081	△ 11,653	△ 12,284	△ 8,138	△ 7,636	△ 6,076
(B) 有価証券売買損益	312,882,986	398,073,071	△ 3,107,261,119	1,381,425,715	△ 262,595,940	375,594,174
売買益	319,355,613	402,472,148	10,312,481	1,388,252,894	5,023,117	378,574,298
売買損	△ 6,472,627	△ 4,399,077	△ 3,117,573,600	△ 6,827,179	△ 267,619,057	△ 2,980,124
(C) 信託報酬等	△ 52,480,878	△ 55,540,788	△ 54,346,202	△ 50,078,909	△ 54,804,454	△ 46,072,259
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	260,391,027	342,520,630	△ 3,161,619,605	1,331,338,668	△ 317,407,979	329,516,393
(E) 前期繰越損益金	△10,006,145,477	△ 9,690,283,552	△ 9,306,782,844	△12,391,330,642	△10,978,230,506	△11,235,077,754
(F) 追加信託差損益金	△ 9,508,463,351	△ 9,387,618,601	△ 9,284,279,076	△ 9,218,686,456	△ 9,105,521,044	△ 9,002,628,662
(配当等相当額)	(725,358,539)	(716,526,588)	(709,336,638)	(684,619,457)	(676,932,864)	(669,489,055)
(売買損益相当額)	(△10,233,821,890)	(△10,104,145,189)	(△ 9,993,615,714)	(△ 9,903,305,913)	(△ 9,782,453,908)	(△ 9,672,117,717)
(G) 計 (D+E+F)	△19,254,217,801	△18,735,381,523	△21,752,681,525	△20,278,678,430	△20,401,159,529	△19,908,190,023
(H) 収益分配金	△ 75,914,686	△ 74,923,906	△ 74,049,614	△ 73,314,829	△ 72,347,563	△ 71,514,473
次期繰越損益金 (G+H)	△19,330,132,487	△18,810,305,429	△21,826,731,139	△20,351,993,259	△20,473,507,092	△19,979,704,496
追加信託差損益金	△ 9,508,463,351	△ 9,387,618,601	△ 9,303,306,755	△ 9,218,686,456	△ 9,105,521,044	△ 9,002,628,662
(配当等相当額)	(725,394,937)	(716,548,813)	(690,353,741)	(684,653,587)	(676,976,805)	(669,501,429)
(売買損益相当額)	(△10,233,858,288)	(△10,104,167,414)	(△ 9,993,660,496)	(△ 9,903,340,043)	(△ 9,782,497,849)	(△ 9,672,130,091)
分配準備積立金	1,838,580,214	1,819,639,070	1,786,178,398	1,783,177,968	1,747,657,388	1,746,373,750
繰越損益金	△11,660,249,350	△11,242,325,898	△14,309,602,782	△12,916,484,771	△13,115,643,436	△12,723,449,584

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第247期	第248期	第249期	第250期	第251期	第252期
(a) 配当等収益(費用控除後)	81,552,479円	80,577,657円	43,943,773円	89,154,532円	61,664,945円	90,663,492円
(b) 収益調整金中のその他収益調整金	725,394,937円	716,548,813円	709,381,420円	684,653,587円	676,976,805円	669,501,429円
(c) 分配準備積立金中の配当等収益	0円	5,562,375円	11,078,162円	0円	15,619,070円	4,878,736円
分配対象収益(a+b+c)	806,947,416円	802,688,845円	764,403,355円	773,808,119円	754,260,820円	765,043,657円
分配対象収益(1万円当たり)	106円	107円	103円	105円	104円	106円
分配金額	75,914,686円	74,923,906円	74,049,614円	73,314,829円	72,347,563円	71,514,473円
分配金額(1万円当たり)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第247期	第248期	第249期	第250期	第251期	第252期
1 万円当たり分配金（税引前）	10円	10円	10円	10円	10円	10円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド
第21期 運用状況のご報告
決算日：2023年3月27日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	期騰落	中率	(ベンチマーク)	中率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
17期(2019年3月25日)	19,416	3.2	419.02	3.1	87.9	—	77,051
18期(2020年3月25日)	20,125	3.7	441.57	5.4	94.3	—	90,359
19期(2021年3月25日)	20,744	3.1	452.56	2.5	89.9	—	84,082
20期(2022年3月25日)	21,164	2.0	461.28	1.9	90.7	—	69,040
21期(2023年3月27日)	20,501	△3.1	450.91	△2.2	87.7	—	53,865

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

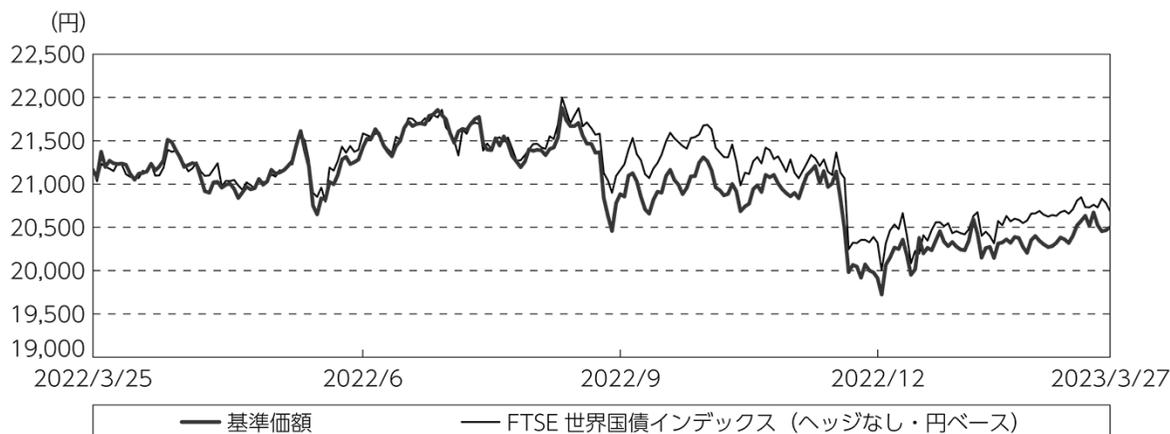
年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率
	騰落	率	(ベンチマーク)	騰落率		
(期首) 2022年3月25日	円 21,164	% —	ポイント 461.28	% —	% 90.7	% —
3月末	21,271	0.5	461.62	0.1	94.1	—
4月末	21,243	0.4	461.63	0.1	90.2	—
5月末	21,165	0.0	460.12	△0.3	94.2	—
6月末	21,430	1.3	470.43	2.0	88.6	—
7月末	21,748	2.8	471.98	2.3	87.0	—
8月末	21,396	1.1	467.83	1.4	89.5	—
9月末	20,883	△1.3	461.25	△0.0	86.2	—
10月末	21,309	0.7	472.46	2.4	84.3	—
11月末	20,895	△1.3	460.81	△0.1	87.7	—
12月末	19,913	△5.9	442.93	△4.0	83.4	—
2023年1月末	20,278	△4.2	445.85	△3.3	88.8	—
2月末	20,400	△3.6	450.32	△2.4	95.9	—
(期末) 2023年3月27日	20,501	△3.1	450.91	△2.2	87.7	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年3月26日～2023年3月27日)



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) です。

(注) ベンチマークは、期首 (2022年3月25日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・米ドルとユーロが対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・米国やユーロ圏を中心に全ての投資国において債券利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したこと。
- ・オーストラリアドルが対円で下落したこと。

投資環境

(2022年3月26日～2023年3月27日)

〈投資国の債券市場〉

海外の債券市場では、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受けてインフレ懸念が急速に高まる中、主要中央銀行が利上げに前向きなタカ派姿勢に転じたことから、利回り上昇（価格は下落）のスタートとなりました。その後も、米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）が大幅な利上げに踏み切り、金融引き締め姿勢を一段と鮮明にしたことを受けて、2022年10月下旬にかけて、投資国の国債利回りの上昇が続きしました。しかし、11月に入り米国のインフレ率がピークアウトしたことに加え、FRBによる利上げペースの減速や早期利上げ打ち止めが意識されたことなどから、米国債主導で投資国の国債利回りが低下（価格は上昇）しました。2023年2月以降は、米国の好調な経済指標やECB高官の利上げに積極的な発言などを背景に再度利回り上昇が進行する場面も見られましたが、米国の大手地方銀行の破綻を契機に欧米の金融システムへの懸念が高まり、期末にかけて投資国の国債利回りが急低下する展開となりました。一方、日本では、2022年12月に日銀が長短金利操作（YCC、イールドカーブ・コントロール）における長期金利の許容変動幅を拡大したことを受けて、10年国債利回りが上昇しました。この結果、当期における投資国の10年国債利回りは、イタリアを筆頭に全ての投資国で上昇しました。

〈為替市場〉

為替市場では、日銀と海外の主要中央銀行との金融政策スタンスの違いから内外金利差が急拡大したことに加え、資源価格上昇に伴う日本の貿易赤字拡大を受けて、米ドルが対円で一時32年ぶりの高値となる152円近辺に急伸するなど、2022年10月下旬にかけて急速な円安が進行しました。ただ、この間に、欧州の天然ガス価格が急騰したことや、イギリス政府が発表した大規模な経済対策と国債増発が嫌気されたことが、ユーロやイギリスポンドの対円での上値を抑制する要因となりました。その後は、政府・日銀が大規模な「円買い・米ドル売り」介入を実施したこと、海外金利が低下に転じたこと、日銀がYCCの修正に踏み切ったことなどを受けて、円が対米ドルを中心に急反発する展開となりました。2023年2月以降は、海外金利の上昇を受けて、投資通貨に対し円が下落する場面も見られましたが、欧米の金融システムへの懸念を背景に海外金利が急低下すると、再び投資通貨に対し円高が進行することとなりました。この結果、当期においては、米ドルが対円で7%程度、ユーロが対円で4%台の上昇となる一方、オーストラリアドルが対円で5%台の下落となるなど、通貨間のパフォーマンス格差が顕著となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年3月26日～2023年3月27日)

8カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、6.88年～8.43年の範囲内での推移となり、期末は7.80年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は80.5%～95.2%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドが高め、円、ユーロが低めとなりました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年3月26日～2023年3月27日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を0.9%下回りました。債券要因では、投資国の債券利回りが大幅に上昇する中、ベンチマークと比較し、米国やユーロ圏のデフレを長めで推移させたことがマイナスとなりました。一方、為替要因では、対円でのパフォーマンスが悪かったオーストラリアドルの投資比率を高めに維持したことがマイナスとなる一方、2022年10月下旬以降の急速な円高局面での機動的な通貨配分の変更がプラスとなり、為替要因全体では概ねベンチマークと同程度のパフォーマンスとなりました。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の債券市場では、欧米の金融システムへの懸念が残る中、当面は各国の経済指標やクレジット市場の動向を睨んで、上下に振れやすい展開が続くと見えています。しかし、今後は米国を中心に銀行の融資基準の厳格化を通じて、経済活動、雇用、インフレに下押し圧力がかかると判断しており、徐々に利回り低下を試す動きが優勢になると考えています。一方、各中央銀行の金融政策スタンスには温度差があるため、投資国間のパフォーマンス格差が拡大する可能性が高いと判断しています。

為替市場では、米ドルを筆頭に海外金利の先高観測が後退したことに加え、日銀の植田新総裁の誕生を受けて、今後日銀がYCCの修正や撤廃に踏み切る公算が高いことから、短期的に円高圧力が強まる場面も想定されます。一方、内外金利差が比較的高水準を維持すると予想される中で、国内投資家からの円売りニーズも強く、円高余地は限定的と判断しています。

（運用方針）

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデフレを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 3 月26日～2023年 3 月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.012	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	2	0.012	
期中の平均基準価額は、20,994円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2022年 3 月26日～2023年 3 月27日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国内	国債証券		千円 -	千円 2,431,440
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 425,914	千米ドル 472,386
	カナダ	国債証券	千カナダドル 77,952	千カナダドル 97,298
	ユーロ		千ユーロ 34,184	千ユーロ 20,931
	ドイツ	国債証券	81,959	99,192
	イタリア	国債証券	47,083	53,434
国	フランス	国債証券	千イギリスポンド 16,175	千イギリスポンド 21,622
	イギリス	国債証券	千オーストラリアドル 259,750	千オーストラリアドル 251,737
	オーストラリア	国債証券		

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月26日～2023年3月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年3月27日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	1,500,000	1,478,845	2.7	—	2.7	—	—
合 計	1,500,000	1,478,845	2.7	—	2.7	—	—

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第363回利付国債 (10年)	0.1	500,000	493,355	2031/6/20	
第364回利付国債 (10年)	0.1	1,000,000	985,490	2031/9/20	
合 計		1,500,000	1,478,845		

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 164,000	千米ドル 163,471	千円 21,357,559	% 39.7	% —	% 24.8	% 13.7	% 1.2
カナダ	千カナダドル 26,000	千カナダドル 24,088		4.3	—	3.0	1.2	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	67,000	53,815	7,570,258	14.1	—	14.1	—	—
イタリア	13,000	11,901	1,674,129	3.1	—	—	3.1	—
フランス	53,000	48,681	6,847,999	12.7	—	10.6	1.3	0.8
イギリス	千イギリスポンド 13,000	千イギリスポンド 14,091	2,252,915	4.2	—	4.2	—	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 47,000	千オーストラリアドル 43,446	3,770,705	7.0	—	5.6	1.4	—
合 計	—	—	45,765,790	85.0	—	62.2	20.7	2.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	US TREASURY N/B 2.25	2.25	26,000	24,783	3,237,935	2027/2/15	
	US TREASURY N/B 2.25	2.25	16,000	12,775	1,669,053	2041/5/15	
	US TREASURY N/B 3	3.0	13,000	11,444	1,495,166	2052/8/15	
	US TREASURY N/B 3.5	3.5	22,000	22,220	2,903,043	2033/2/15	
	US TREASURY N/B 3.625	3.625	11,000	10,950	1,430,637	2053/2/15	
	US TREASURY N/B 3.875	3.875	31,000	31,564	4,123,875	2027/12/31	
	US TREASURY N/B 4.125	4.125	20,000	21,193	2,768,963	2032/11/15	
	US TREASURY N/B 4.375	4.375	5,000	5,028	656,975	2024/10/31	
	US TREASURY N/B 6.25	6.25	20,000	23,512	3,071,908	2030/5/15	
小 計					21,357,559		
カナダ			千カナダドル	千カナダドル			
国債証券	CANADA-GOV' T 2	2.0	12,000	11,294	1,074,775	2032/6/1	
	CANADA-GOV' T 2	2.0	7,000	5,735	545,772	2051/12/1	
	CANADA-GOV' T 3.75	3.75	7,000	7,058	671,675	2025/5/1	
小 計					2,292,222		
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 0	—	26,000	21,673	3,048,861	2032/2/15
		DEUTSCHLAND REP 0	—	22,000	11,828	1,663,948	2052/8/15

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

銘	柄		当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 2.3	2.3	10,000	10,150	1,427,884	2033/2/15
		DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	9,000	10,162	1,429,563	2028/7/4
イタリア	国債証券	BTPS 0.85	0.85	13,000	11,901	1,674,129	2027/1/15
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 1.5	1.5	13,000	9,339	1,313,800	2050/5/25
		FRANCE O. A. T. 2	2.0	14,000	13,224	1,860,335	2032/11/25
		FRANCE O. A. T. 2.5	2.5	18,000	18,033	2,536,718	2030/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	5,000	5,062	712,071	2027/10/25
		FRANCE O. A. T. 4.25	4.25	3,000	3,021	425,073	2023/10/25
小	計					16,092,387	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	UK TSY GILT 4.25	4.25	3,000	3,261	521,455	2032/6/7
		UK TSY GILT 4.25	4.25	7,000	7,499	1,199,079	2039/9/7
		UK TSY GILT 4.75	4.75	3,000	3,329	532,381	2030/12/7
小	計					2,252,915	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 1.75	1.75	31,000	27,245	2,364,644	2032/11/21
		AUSTRALIAN GOVT. 3.25	3.25	8,000	7,638	662,964	2039/6/21
		AUSTRALIAN GOVT. 4.75	4.75	8,000	8,562	743,095	2027/4/21
小	計					3,770,705	
合	計					45,765,790	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年3月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 47,244,635	% 86.5
コール・ローン等、その他	7,361,579	13.5
投資信託財産総額	54,606,214	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (46,185,246千円) の投資信託財産総額 (54,606,214千円) に対する比率は84.6%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=130.65円、1カナダドル=95.16円、1ユーロ=140.67円、1イギリスポンド=159.88円、1オーストラリアドル=86.79円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年3月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	54,606,214,446
コール・ローン等	6,941,970,919
公社債(評価額)	47,244,635,774
未収利息	302,491,712
前払費用	117,116,041
(B) 負債	741,058,443
未払金	741,035,493
未払利息	7,291
その他未払費用	15,659
(C) 純資産総額(A-B)	53,865,156,003
元本	26,274,009,204
次期繰越損益金	27,591,146,799
(D) 受益権総口数	26,274,009,204口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,501円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、2.0501円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は32,622,063,563円、期中追加設定元本額は13,866,310円、期中一部解約元本額は6,361,920,669円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

ワールド・ソブリンインカム (愛称 十二単衣)	25,025,768,454円
Wソブリン毎月分配型 (一般投資家私募、適格機関投資家転売制限付)	554,788,358円
私募ソブリン15-01 (適格機関投資家専用)	336,757,985円
ワールド・ソブリンインカム (1年決算型)	188,456,779円
ソブリンオープン (適格機関投資家専用)	117,023,171円
DCワールド・ソブリンインカム	51,214,457円

○損益の状況 (2022年3月26日～2023年3月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,270,925,266
受取利息	1,272,862,233
支払利息	△ 1,936,967
(B) 有価証券売買損益	△ 3,064,161,898
売買益	4,426,964,274
売買損	△ 7,491,126,172
(C) その他費用等	△ 7,202,478
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,800,439,110
(E) 前期繰越損益金	36,418,753,299
(F) 追加信託差損益金	15,003,713
(G) 解約差損益金	△ 7,042,171,103
(H) 計(D+E+F+G)	27,591,146,799
次期繰越損益金(H)	27,591,146,799

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

該当事項はございません。

〈当ファンドのベンチマークについて〉

FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。